

平成 29 年度 つくば市民意識調査 概要

1 調査の概要

■ 調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握することを目的として実施した。本調査の結果は、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用する。

■ 調査期間

平成 29 年 8 月 8 日～平成 29 年 8 月 21 日

■ 調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女 3,000 人を層化無作為抽出法により抽出

■ 調査方法

郵送配布・回収（※希望者は web 回答も可）

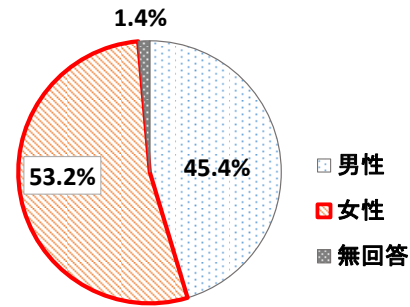
■ 回収状況

発送数：3,000 通（2,400 通）回収数：1,347 通（1,233 通）回収率：44.9%（51.4%）

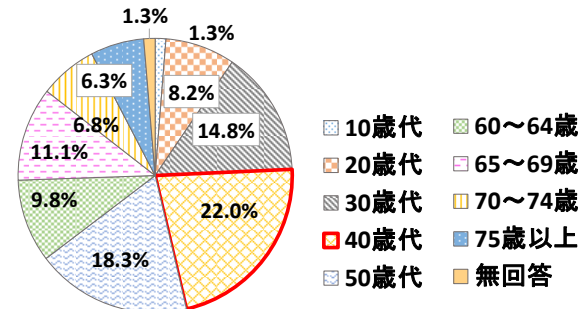
※（ ）内は平成 27 年度の状況

2 回答者の属性

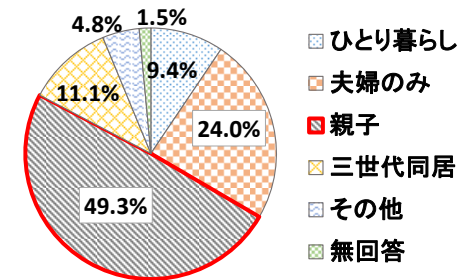
■ 性別



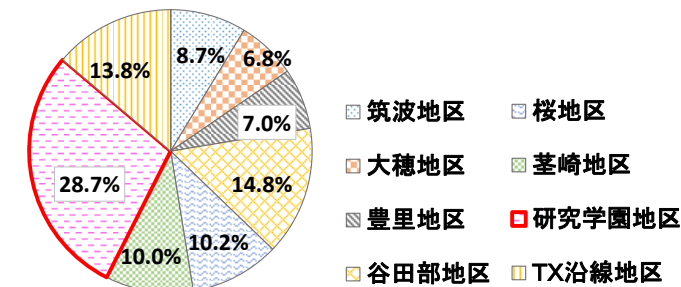
■ 年齢構成



■ 世帯構成

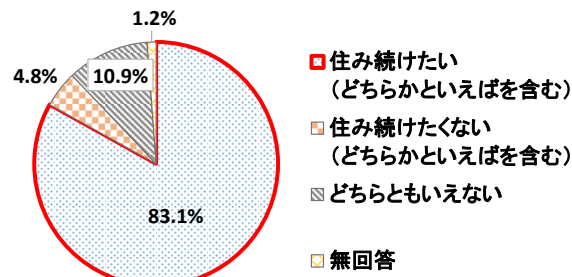


■ 居住地区



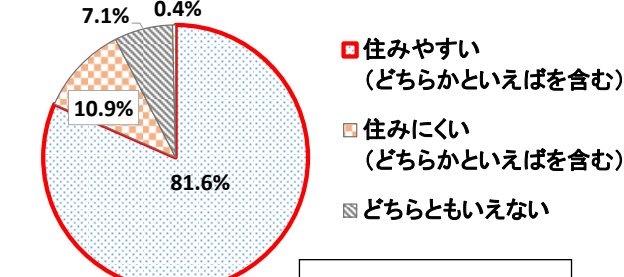
3 住環境について

■ 定住意向（問3）



前回調査より 0.4%増加

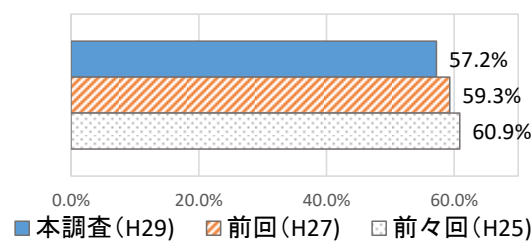
■ 住み心地（問4）



前回調査より 0.1%増加

●住みやすい理由は、1位が「豊かな自然」、2位が「日常生活が便利」となっており、過年度調査と比べると、「居住環境が良い」が増加している。一方で、経年比較では「豊かな自然」は減少の傾向となっている。  
●一方、住みにくい理由は、「交通の便が悪い」や「日常生活が不便」となっている。

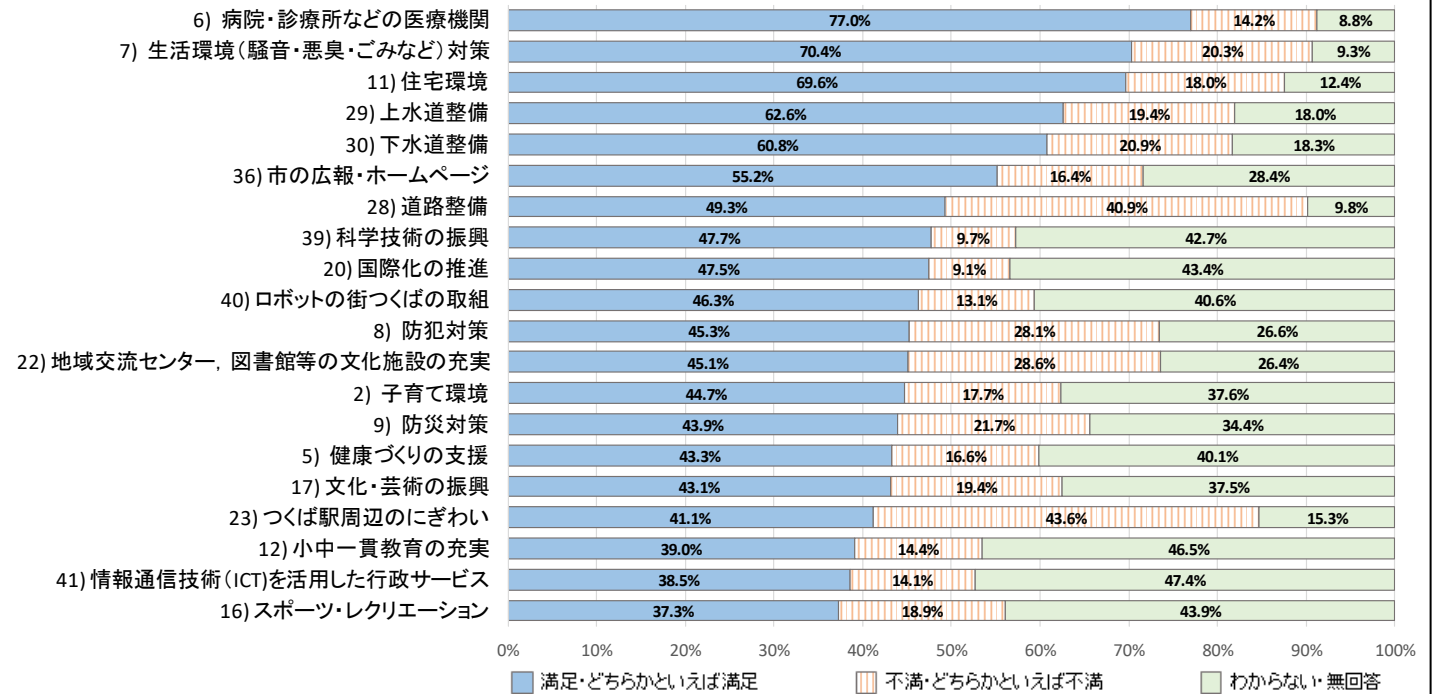
豊かな自然



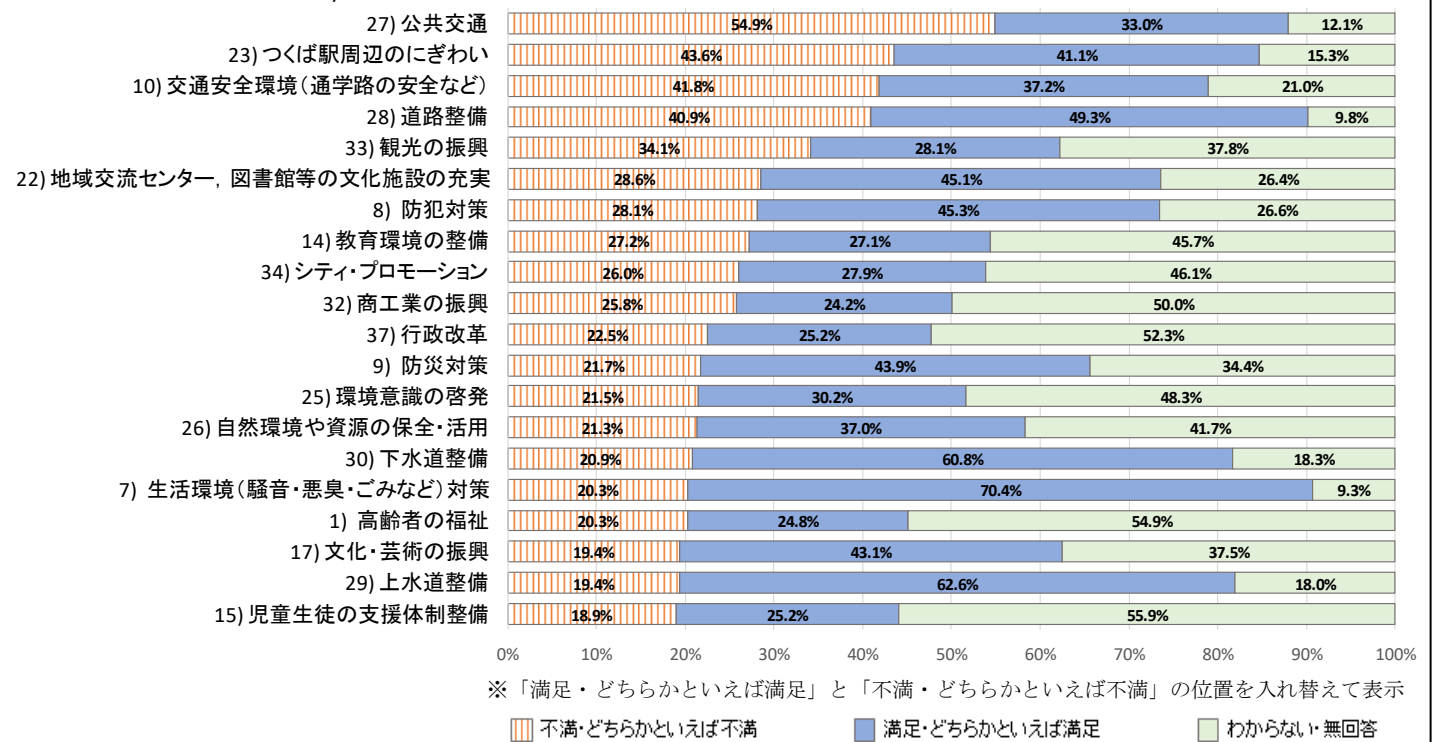
4-1 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

■ まちづくりの取組に関する満足度（問9）

・満足割合が高い順に、上位 20 項目まで表示



・不満割合が高い順に、上位 20 項目まで表示

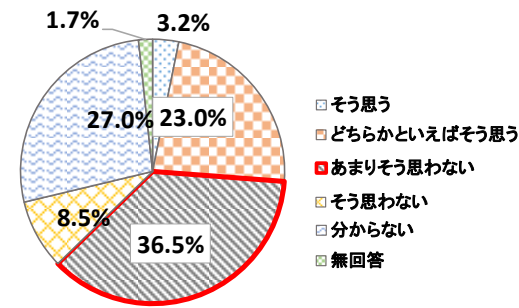


※「満足・どちらかといえば満足」と「不満・どちらかといえば不満」の位置を入れ替えて表示

●満足の割合が高い項目として「病院・診療所などの医療機関」、「生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策」、「住宅環境」があげられている。一方、不満の割合が高い項目としては、「公共交通」、「つくば駅周辺のにぎわい」、「交通安全環境（通学路の安全など）」となっている。また、過年度調査と比べると「つくば駅周辺のにぎわい」の満足度が 60.3%から 41.1%へ減少している。

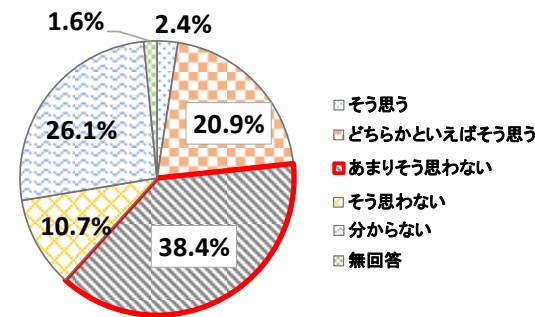
4-2 市政について

■ 市政に市民が参加できる環境が整っていると思うか (問 11)



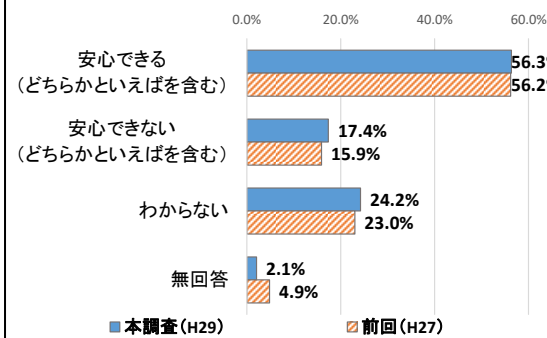
● 市政への市民参加環境が整っているかについては、「あまりそう思わない」が最も多くなっている。  
● 市政に市民の声が活かされているかについては、「あまりそう思わない」が最も多くなっている。

■ 市民の声が活かされているか (問 12)

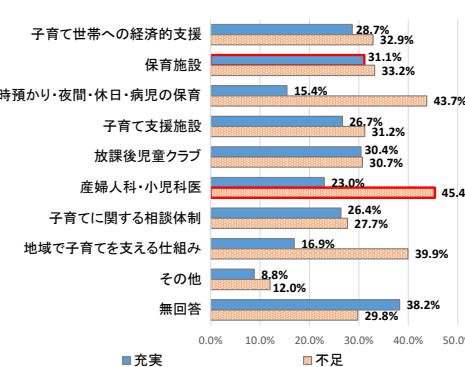


5 少子高齢化への取組について

■ 子育て環境について (問 15, 16)

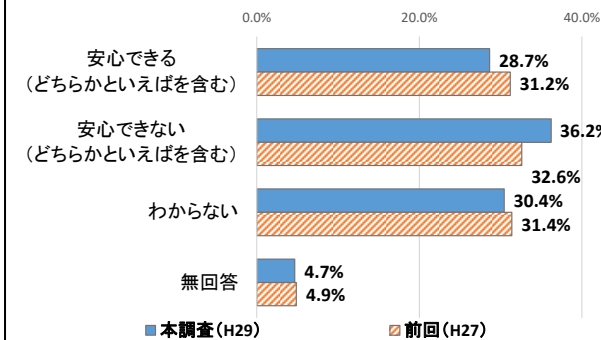


<充実/不足していると思うもの>

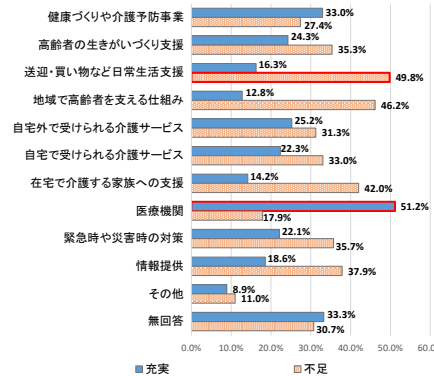


● 子育て環境で充実しているものについては、「保育施設」が最も多く、31.1%、不足しているものについては「産婦人科・小児科医」が最も多く、45.4%となっている。

■ 高齢者の生活環境について (問 17, 18)



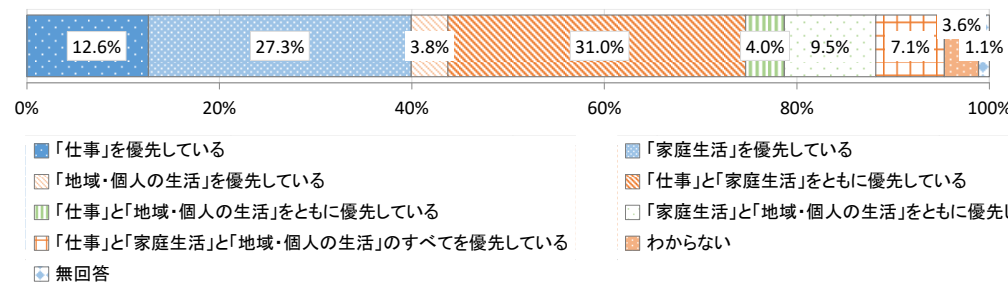
<充実/不足していると思うもの>



● 高齢者の生活環境で充実しているものについては、「医療機関」が最も多く、51.2%、不足しているものについては「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多く、49.8%となっている。

6 普段の生活について

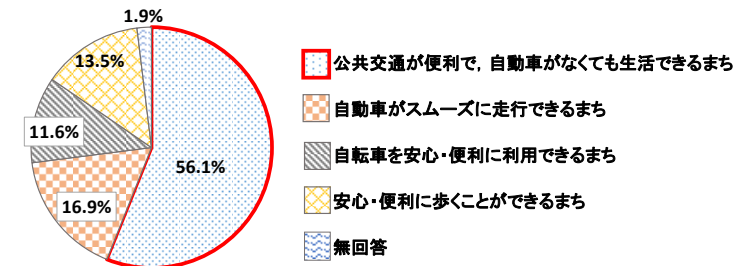
■ 生活の中での優先度 (問 22)



● 生活の中での優先度については、「仕事」と「家庭生活」をともに優先しているが最も多く、31.0%となっている。

7 交通環境について

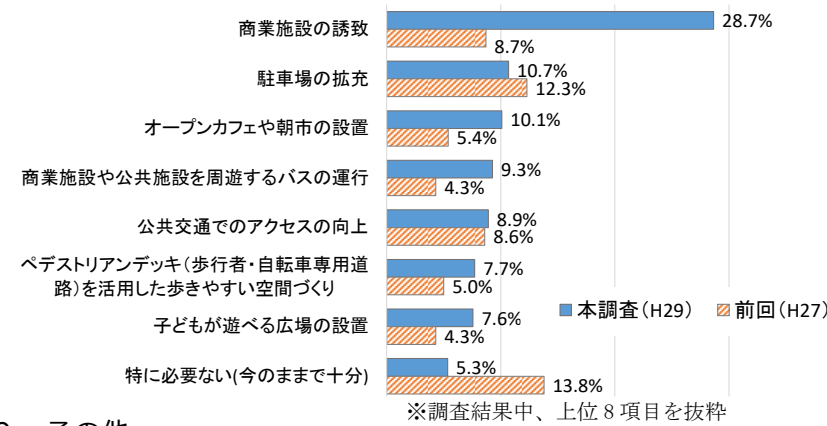
■ 望ましい交通環境 (問 25)



● つくば市の望ましい交通環境については、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が最も多く(56.1%)、次いで「自動車がスムーズに走行できるまち」が16.9%となっている。

8 つくば駅周辺地区の活性化

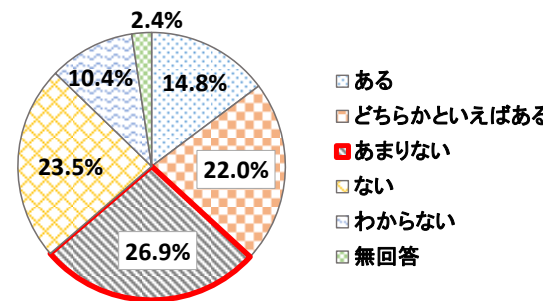
■ 活性化のために必要な取組 (問 30)



● 「商業施設の誘致」が最も多くなっている。  
● 過年度調査と比べると、「商業施設の誘致」の割合が大きく増加し、「特に必要ない(今のままで十分)」が減少している。

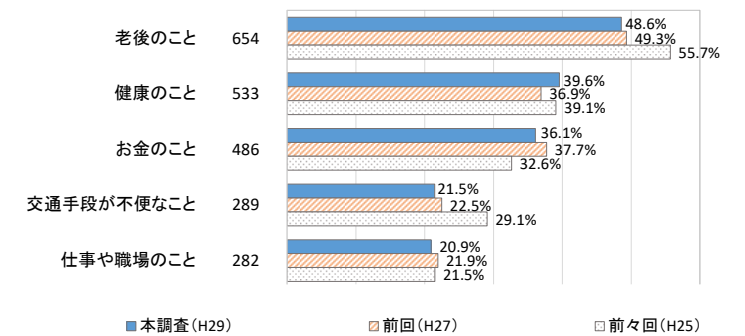
9 その他

■ 「科学のまち」に恩恵を感じることがあるか (問 32)



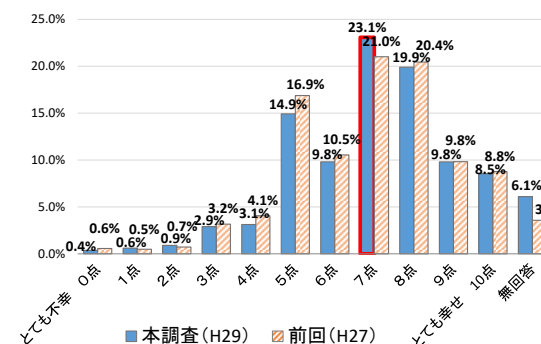
● 「あまりない」が最も多く26.9%、次いで「ない」が23.5%となっている。

■ 心配事 (問 35)



● 「老後のこと」が最も多くなっている。過年度調査と比べると、「健康のこと」が増加している。

■ 幸福度 (問 33)



● 「7点」が最も多くなっている。過年度調査と比べると、「8点」が減少している。